

全世帯の $\frac{2}{3}$ 2517 人から回答

議会に関するアンケート結果の概要

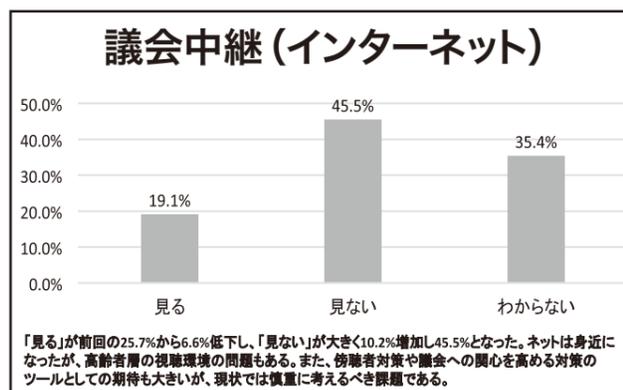
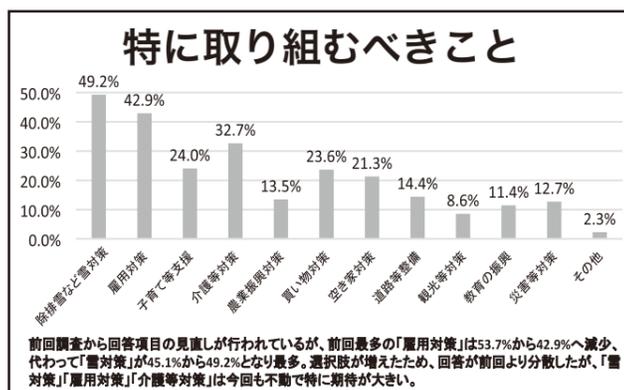
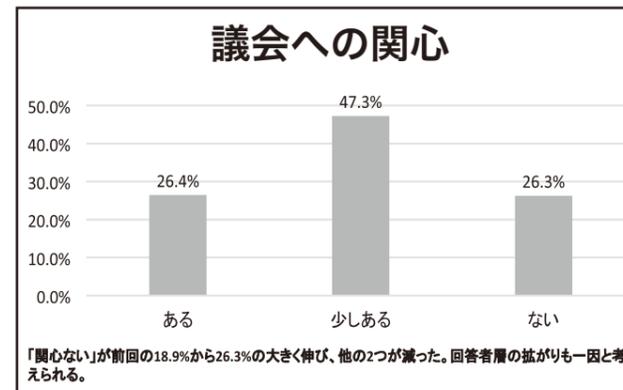
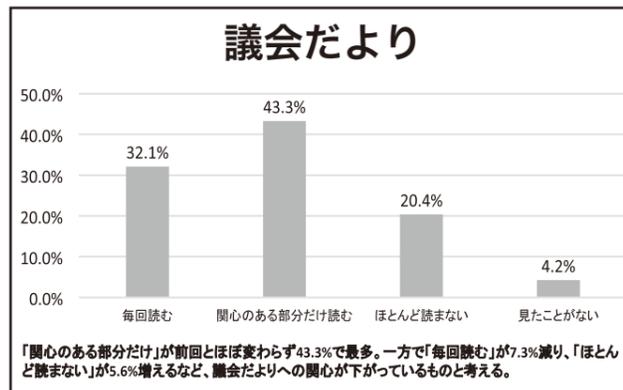
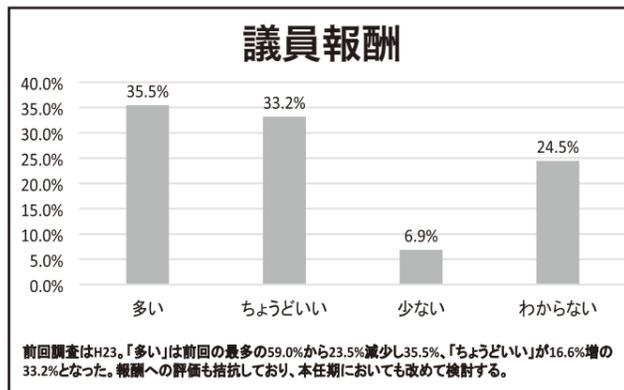
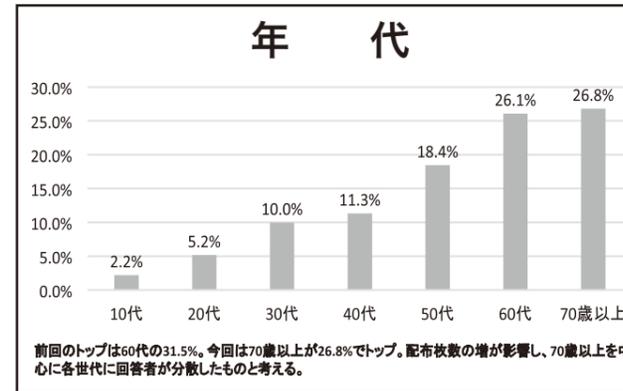
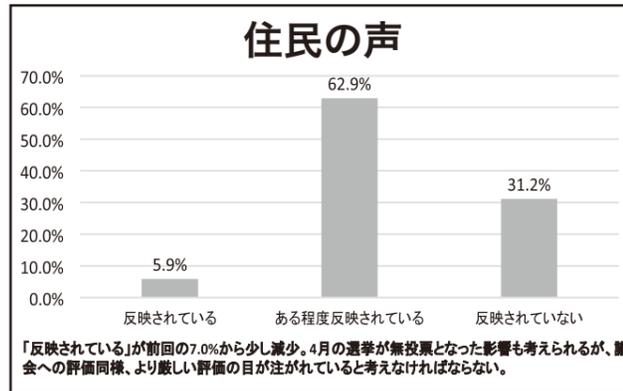
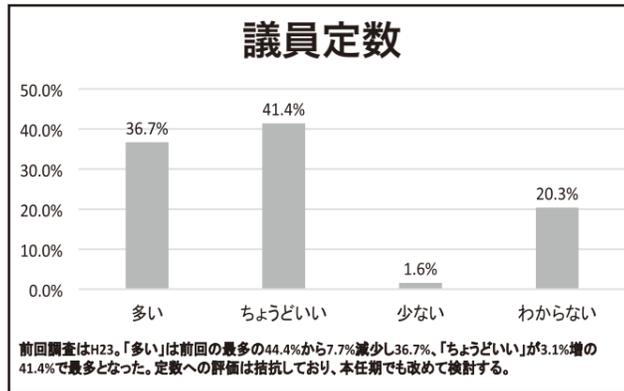
最も取り組むべき課題は「雪対策」

次いで「雇用対策」「介護等対策」

平成23年、27年に続き3回目となる町民アンケートに取り組んだ。特に改選期となった今春の町議選が初の無投票となったこともあり、早く町民の声を聞くべきとの判断から、12月だった本調査を8月に繰り上げ、前回比較もできるような設問も取り入れた。

提出者は2517人で、提出世帯は1073世帯。約3分の2の世帯から、平均2〜3人のご協力を頂いた。特に関心の高かった項目は、「議員定数」と「議員報酬」。自由記述でもこの点について厳しい意見が多く寄せられた。最も取り組むべき課題

は、前回同様の項目が上位を占めたが、今回は「除排雪などの雪対策」がトップ。回答者のほぼ半数が要望した。結果概要は次のとおり。なお、自由記述分は、議会事務局でご覧頂くことができるが、一部公表に適さないと判断してものは除いている。

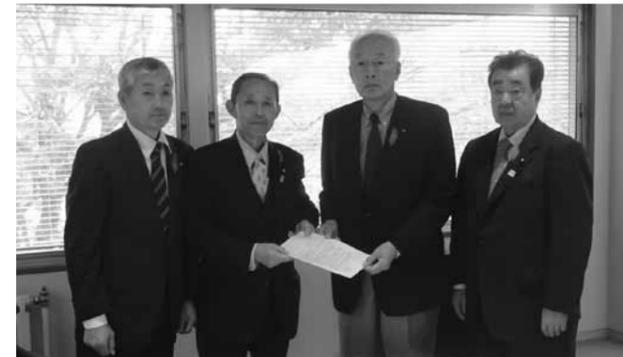


明安小・有屋小 R4.4/1 金山小との統合方針が示される

今後の小学校のあり方の方針が町長から示された。具体的には、児童数の推移と教育環境の確保のため、明安小と有屋小を令和4年度から金山小に統合するというもの。小学校の統合は、これまでも議論されたが、議会に具体的な方針が示されたのは初めて。地域での懇談会などを踏まえ、教育委員会並びに総合教育会議(町長と教育委員の会議)において、正式決定されたとのこと。

今後、ていねいに説明して理解を得ることとされており、伝統芸能など地域に関わる課題など、教育委員会では詳細を詰めて、議会に報告するという。その後、教育委員会も各学校やPTAなどに方針を示し、統合に向け既に動き始めており、町議会も動向を注視しながら、より良い教育環境づくりに向けて、この問題を議論していく。

議会全員協議会 9/5



10月15日 アンケート結果を町長に報告



7月17日 アンケートの配布に向け準備する